

平成 17 年 4 月 20 日

各 位

会社名 株式会社 タカラ  
代表者名 代表取締役社長 奥出信行  
(コード番号 7969 東証第 1 部)  
問合せ先 執行役員財務部長 久保亮三  
(TEL03-3603-2134)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 1 月 27 日に発表しました平成 17 年 3 月期 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	100,000	9,600	10,500
今回修正予想 (B)	97,000	12,500	15,000
増減額 (B - A)	3,000	2,900	4,500
増減率 (%)	3.0%	30.2%	42.9%
(ご参考)			
前期実績 (平成 16 年 3 月期)	107,261	3,124	799

2. 当期の個別業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	47,000	7,500	14,000
今回修正予想 (B)	45,500	9,600	20,500
増減額 (B - A)	1,500	2,100	6,500
増減率 (%)	3.2%	28.0 %	46.4%
(ご参考)			
前期実績 (平成 16 年 3 月期)	68,287	3,306	2,055

### 3. 修正の理由

平成 17 年 1 月 27 日に、通期業績予想について下方修正を発表し、その後社内「経営改革委員会」を中心にしてグループの再編と、タカラ単体の高コスト体質の抜本的構造改革と事業領域の絞り込みに取り組んでおります。平成 17 年 3 月期通期業績について第 4 四半期業績においても国内・海外ともに計画を下回る見込みです。

連結業績では、タカラ単体の利益の減少要因に加えて、子会社でも在庫評価減・無形固定資産の償却・人員削減による割増退職金支払い等により損失が拡大する見込みとなりました。

タカラ単体においては、海外売上が約 77 億円（前期実績 196 億円から 61 % 減）と著しく鈍化し、これをカバーする国内売上也、リードアイテムが少なく当期約 378 億円（前期 487 億円から 22% 減）の売上にとどまる見込みです。平成 16 年度第 4 四半期売上計画未達（15 億円）による利益減の他、たな卸資産の追加評価減 16 億円（通期合計 61 億円）、希望退職関係費用 3 億円、業績が低迷または悪化したグループ子会社に対する投融資損失引当金等 35 億円（通期合計 84 億円）、固定資産除売却損失 5 億円等を計上する予定です。

#### 【業績等の予想に関する注意事項】

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上